

MQ138(A)

Interactive communication camera

モニター	2.8inch/240x320px
解像度	1080p/20fps/H.264
FOV	120°
カメラ	人型検出をサポート
可動範囲	水平350度/垂直85度
メモリー	最大128GB
サイズ	153x84mm
ライト	LEDライト/赤外線ライト

内容物：本体・USBケーブル

Home Camera MQ138  214-240362

保証規約

【1】保証期間は、お買い上げの日から3ヶ月です。
保証期間の過ぎた商品や、購入日と販売店が証明できるもの（販売店が発行する領収書・レシートや納品書等）がないものは有償修理となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。

【2】保証適用除外事項について
次のような場合および事項については、保証期間内であっても保証の適用外とします。なお保証適用外の事由によって生じた製品の修理・交換に関しては、理由の如何にかかわらず有償修理対応となります。A.商品購入日と購入店を証明できるもの（販売店が発行する領収書・納品書・レシート等）を紛失された場合。B.保証書を紛失・改竄された場合。保証受付の際に提示なき場合。本保証書に必要事項が明記されていない場合。C.譲渡・転売・中古販売・オークション等により入手された場合。D.改造等の保証外動作を行った場合。E.製品運搬中の衝撃・振動等による故障・損傷の場合。F.落下や衝撃、強度の振動によって製品に故障または損傷が生じた場合。G.不良製品があった際、その不良部分につき発売元に申し出なく、自己で修正を試み他の製品に損害を与えた場合。H.製品不具合発生の原因が、火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等の外部的要因による場合。I.極端な高温または低温の過酷な環境下での使用において故障または損傷が生じた場合。J.日本国外で使用された場合。

【3】免責事項
A.いかなる場合においても、内蔵メモリーまたはメモリーカード内に蓄積されたデータに関して、その保存および保持は一切保証いたしません。B.輸送中における故障・損傷については、発売元は一切その責を負いません。C.法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても、製品の使用、または使用不能から生ずる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含む）に関しては、発売元では一切の責を負わないものとします。D.製品および発売元サービスに関して、発売元の責に帰すべき事由によりお客様に損害が生じた場合には、発売元は製品の

YouTube
Channel



tryangle
Co., Ltd



ご購入代金を上限として、その損害賠償責任を負うものとします。但し、その損害賠償の範囲は、現実には発生した直接かつ通常の損害に限るものとします。E. 付属ドライバソフトウェアのインストール、操作方法、動作、内容、およびそれに準ずるお問い合わせに対しては、発売元はその対応義務を負わないものとします。

【瑕疵担保責任に関する特約】

商品に添付される保証書等の条件に従い、保証サービスが提供されます。保証書が添付されていない商品および保証書の条件が適用されない商品については、上記「保証期間」・「保証適用除外事項」のみの対応となるものとし、法律上の瑕疵担保責任の規定は適用されないものとします。

✉ サポートメール

support@tryangle.style

お買い上げ日	
お名前	様
ご住所	〒
お電話番号	
販売店記載欄	製品保証期間 (製品到着日より) 3ヶ月

この製品保証書は下記の保証規約の内容で、無料修理または交換をお約束するものです。購入日と購入店が証明できるもの（販売店が発行する領収書・納品書・レシート等）を紛失された場合保証対象外となりますので、必ず大切に保管をお願いします。お客様都合による返品・返金はお受けいたしかねます。なお、お客様原因による不具合の場合は、本保証の対象外とさせていただきます。

取扱説明書 MQ138(A)

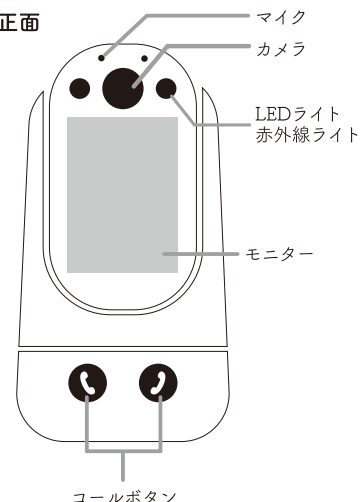
このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。本製品を使用する前に本書をご覧ください。

本製品は精密機器です。落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。防水ではございません。水のかかる場所等では使用しないでください。故障の原因になります。自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。使用前には充電を行ってください。

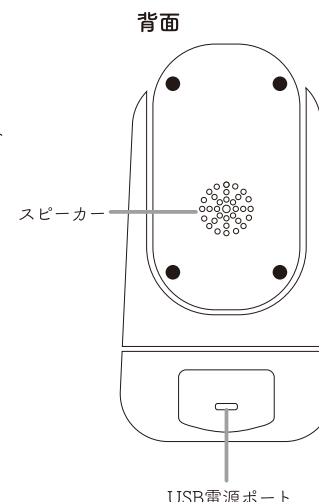
本製品は**急速充電タイプのアダプターやケーブル（PD）には対応しておりません**。接続する場合は**付属のUSBケーブル**をご使用ください。

常に映像を書込む必要のある動画の場合、**カードに一定レベル以上の転送速度（クラス10、V30など）がないと、きちんとデータが書き込めないこともあります**。SDカードや機器の相性により書き込みが上手くいかない場合も

正面



背面



可動部分下



microSDカード
スロット
リセット
ボタン

本製品をご使用いただく前にmicroSDをセットして下さい。向きに注意して、microSDカード（非付属）をセットし、カードを奥まで差し込むとロックされます。外す場合は爪先などでmicroSDカード軽く押し込むとロックが解除されて取り出せます。

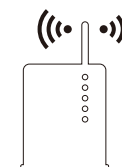
ご使用いただくには、以下の環境や機器が必要です。

グローバルIPアドレス [IPv4] [IPv6] を用いたIPv4 が付与されるインターネット接続環境をご用意ください。「UPnP機能」と「2.4GHz」の周波数帯に対応した無線ルーターを使用します。（5GHz帯の周波数は使用できません）スマートフォン／タブレットは、アプリによって対応できるOSが異なります。

※インターネット接続環境は必ず必要です。屋外では使用しないで下さい。



モニカム本体



インターネット



スマートフォン

プロバイダーやマンション、お使いの携帯電話回線などのネットワーク環境によっては本機能に必要な通信を制限され、動作しない場合があります。ご利用のネットワーク環境により、ファイアウォールや無線ルーターの設定が必要になる場合があります。また、共用設備などでセキュリティレベルが高く設定されている環境ではご利用にできない場合があります。

モニカムとスマホを登録、接続準備

アプリ「Im Cam」のインストール

スマートフォンで「Im Cam」を右記のQRよりダウンロードして下さい。QRがうまくいかない場合は各ストアで「Im Cam」を検索してダウンロードして下さい。



iOS



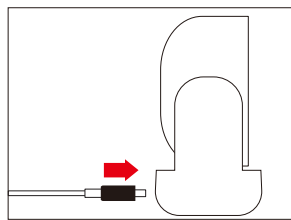
Android



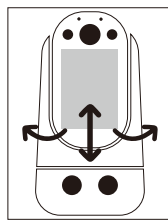
Im Cam
Cylan
無料

デバイスの電源を入れましょう

付属のUSBケーブルをデバイスへ接続。もう片方をACアダプタで接続。電源が認識されるとカメラが上下左右に動きます。モニターが点灯して「ようこそ！」が表示されます。



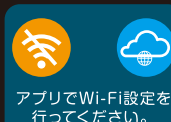
USBケーブルを接続します



電源が入ると稼働します

モニカムの画面

ようこそ！



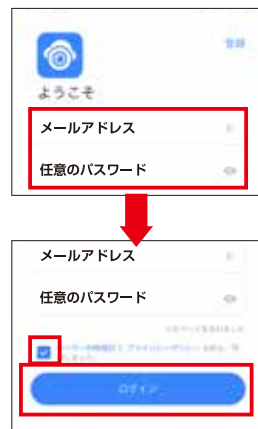
アプリでWi-Fi設定を行ってください。

初期設定はBluetoothを使用します。デバイスの近くで、電波環境の良い場所で設定を行って下さい。設定中はデバイスの電源を切ったりしないようにお願いします。故障の原因になります。

※画面はiOS版で説明しています。

スマホで「Im Cam」の登録とログイン

スマホのWi-FiとBluetooth機能をONにして下さい。アプリを起動すると登録画面がでます。メールアドレスとパスワードを設定します。右上にある登録をタップします。ユーザー規約にチェックをいれて、ログインをタップします。
※2台目以降のスマホはここから登録を開始します。



デバイスの追加 (2台目のデバイス登録)

続けてデバイスの登録します。画面右上にある「+」をタップします。「Wi-Fiカメラ」をタップします。Bluetoothの許可を求められたら「許可」をタップして下さい。次へをタップします。

※2台目のデバイスの登録もできます。



+をタップします



Wi-Fiカメラをタップします



次へをタップします

BluetoothとWi-Fiの接続

Bluetoothで接続可能なデバイスに接続します。表示された製品をタップして下さい。

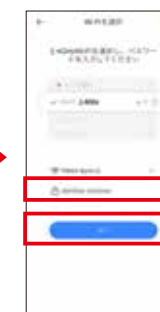
※Bluetoothは初期設定のみで使用後、これ以降は使用しません。



表示された製品をタップします



ご自宅のルーターをタップします



ご自宅のネットワークのパスワードを入力します

続いてWi-Fiルーターに接続します。リストに出てきたご自宅のルーターを選択して下さい。

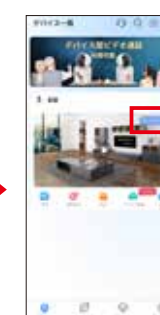
ルーターのパスワードを入力します。次へをタップします。

Wi-Fiの接続の続き

デバイスの画面が変わり「接続中」にかわります。接続に成功するとスマホの画面でデバイスの名前や設置場所等を決定して確認をタップします。オンラインのマークが表示されれば、これでデバイスとの接続完了です。名前などは後から変更可能です。

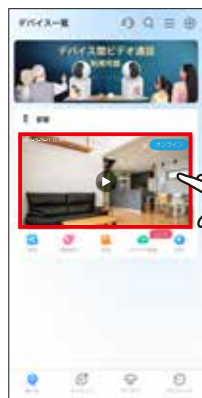


確認をタップします



登録完了です

スマホの操作説明



オンライン画面をタップします。
画面が切り替わります。

戻る



ピンチイン&ピンチアウトで
画面を拡大縮小できます。ピン
チインして左右にスライド
も出来ます

マイクON/OFF

動画撮影

写真撮影

画像品質

全画面表示

カメラコントロール

デバイスの映像



スマホ側の映像
がデバイスに
映ります
(ビデオ通話時のみ)

デバイスの映像

スピーカーの
音量調整

マイクのON/OFF

スピーカーのON/OFF

通信終了



インカメラのウィンドウは
任意の場所に移動出来ます

カメラコントロール



カメラを上下左右に動かせます

カメラのON/OFF

スマホのカメラを
インカメラ/アウトカメラの
表示を切り替えます
(ビデオ通話時のみ)

通話画面



デバイス名の変更

本体情報が確認

デバイスを追加

1台のスマホに複数台のデバイスも追加出来ます

アプリのアップデート

別のスマホを追加

スマートフォンの
コール先を設定

動作検知のお知らせ

使用環境や設定によりかなりの頻度のお知らせがスマ
マホへ届く場合があります。ご注意ください。

SDカードへの保存設定

カメラ視野に動きが
あれば追跡します

デバイスの音量の設定

デバイスの壁紙の変更
6種類から選べます

本体のスリープする時間設定

デバイスのスリープする時間設定

デバイスの画面右上にスマホから
閲覧中のアイコンが表示されます

LEDライトと赤外線ライトの設定

デバイスがオンラインになると
通知する機能のON/OFF

言語の設定

カメラ位置のリセット

デバイスの再起動

全て消去してリセットになりますので
注意して下さい

ホーム画面の解説

ホーム画面の解説

コールボタン1、2で2台目のデバイスかスマホ（2台目も）を呼び出すか設定します。

別のスマートフォンを簡易的に追加できます

使用しません

登録したデバイスの削除

デバイスの追加

2台目のデバイスを追加するときに設定ができます。再度接続準備からはじめます。

設定画面

使用しません

ホームに戻ります

使用しません

タイムラインで保存した動画や写真が保存されています。

タイムラインをスライドさせれば見たい時間のところに移動できます

再生速度の設定

全画面表示

タイムライン動画と画像をアルバムに保存出来ます

タイムライン

過去の録画

2024-09-09 16:18:25

16:18

タイムラインを左右にドラッグして時間を戻します

16:18:25

16:00 16:15 16:30

オートリプレイ

オートリプレイ

デバイスの操作

コールボタン①を押すと、登録されているスマホへ発信されます。通信をきるにはコールボタン①を押すと切れます。2台目のスマホを登録し、コール②設定しとけば選んでコールすることが出来ます。設定から追加で登録できます。

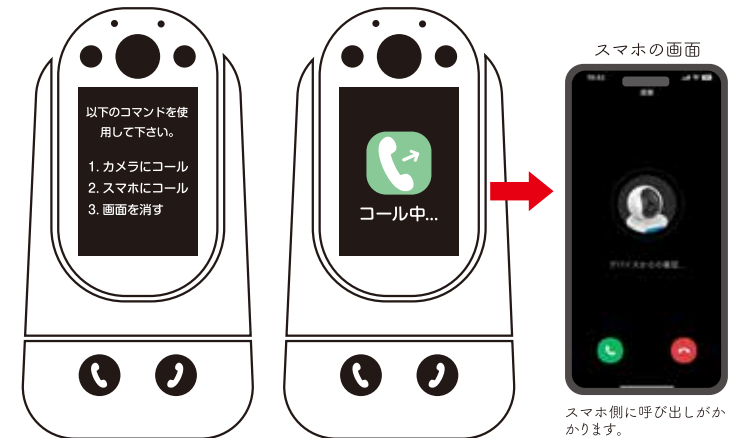


音声での操作

ボイスコントロール機能：「ハイモニカ」と声をかけるとデバイスが反応します。画面が切り替わります。

1. カメラにコール
2. スマホにコール
3. 画面を消す

上記のどれか一つをデバイスに話しかけると、音声で実行されます。通信をきるにはコールボタンを押すと切れます。



簡単音声コールの流れ



デバイス共有 2台目以降(子機)のスマホの追加方法[最大5人まで]

最初に登録したスマホ(親機)を使い2台目の登録準備をします。

※1台目と同様に2台目以降のスマホにもアプリのダウンロードとアカウント登録が必要です。



デバイス一覧画面で共有をタップします。

クイックシェアをタップ

確定をタップ



画面にQRコードが表示されます。登録したいスマホのアプリIm Camでスキャンして下さい。QRコードを画像として保存できます。QRコードには有効期限があり、30分で無効になります。



2台目のスマホでQRコードをスキャンします

2台目のスマホの画面右下のプロフィールをタップ

画面右上のスキャンをタップしてQRコードをスキャンして下さい。

モニカム同士の通話設定

1台目で登録したスマホを使用します。2台目のデバイスの登録します。手順は1台目と同じです。アカウントは変更しないで下さい。例として「部屋」と「キッチン」に設定しています。デバイス一覧画面に2つ目のデバイスが表示されます。一つ目に登録したデバイスの設定をタップします。通話設定をタップします。



＋をタップしてデバイスを追加しましょう

登録が終わるとデバイス画面が増えます。設定をタップします

通話設定をタップします

ボタン1をコール先に設定します。ボタン1、ボタン2どちらかに設定できます。先ほど設定したデバイスがリストに「キッチン」が表示されてますので、設定ボタンをタップします。ボタン1をどのデバイスがコール先になるかチェックを付けます。「キッチン」のデバイスのみにチェックを付けます。確定をタップします。これで設定が終了です。



設定をタップします

チェックマークを付けます

確定をタップします

デバイス1のコールボタン1を押すともう1台に着信します。通話を開始する場合はデバイス2の左側のボタンを押します。これで会話が可能になります。通話を終了する場合はコールボタンを押すと終了します。一度設定すればデバイス2からもデバイス1へコールできます。

